

事務事業評価における総括

部 局 名	教育推進部	記入責任者	中山 早恵子
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育推進部の政策的事業のうち実績なし以外の事業は 124 事業で、このうち 121 事業で指標を達成し、S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、実施時期の変更等で指標は達成できなかったが成果は上がったとして 2 事業を A 評価、成果は今後見込めるとして 1 事業を C 評価としていることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>青少年課の子ども会育成事業は、酷暑のため当初予定から日程を変更したことにより、参加子ども会数及び児童数が目標値を達成できなかったため C 評価としています。社会教育課の市指定重要文化財旧和田家・旧三橋家保存整備事業については、国庫補助額の交付率の低下により、実施時期の調整等、進捗が遅れたことから A 評価としています。また、図書館の図書室、図書コーナー運営事業（貸出窓口増設事業）は、（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館の開館時期の変更により協議回数が減となったことにより A 評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした子ども会育成事業は、参加子ども会数及び児童数が目標値に至りませんでしたが、開催時期の見直しや子ども会加入者増加に向け、全小学校へ子ども会加入促進のチラシ配布等の広報活動を継続して行っていくことで参加者の確保に努めていきます。また、A 評価とした市指定重要文化財旧和田家・旧三橋家保存整備事業については、進捗が遅れた旧三橋家住宅の耐震改修設計を改めて令和元年度の国庫補助対象事業として実施します。計画的に事業を実施していくため、国庫補助関係の要望を引き続き行っていきます。図書館の図書室、図書コーナー運営事業（貸出窓口増設事業）は、（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館に設置予定の図書室の設計に関する協議を行うものですが、開館時期の変更に伴い協議回数が減少しました。今後、開館に向けて適切な時期に協議を行っていきます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>今後も、次期総合計画や次期教育基本計画の策定等を踏まえ、事業や組織の見直しを進め、効果的な事業の実施を図ります。市民への影響に配慮しながら事業の統廃合を検討し、事業費、人員の重点化を行います。</p>			